

# 2015 年度 日本学生オリエンテーリング選手権大会 スプリント、ロング・ディスタンス競技部門 要項 1

発行日：2015 年 2 月 9 日

発行者：2015 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会  
スプリント競技部門実行委員会、  
ロング・ディスタンス競技部門実行委員会

発行責任者：齋藤 翔太（スプリント競技部門）

石澤 俊崇（ロング・ディスタンス競技部門）

編集責任者：石塚 脩之



Web版では  
クリックすると  
そのページに  
ジャンプします  
(閲覧環境に  
よってはジャンプ  
非対応)  
↓

大会概要 Page 1

立入禁止区域 Page 2

その他 Page 3

2015 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会（スプリント、ロング・ディスタンス競技部門）  
を以下の通り開催します。

## 開催日

2015 年 **10** 月 **3** 日（土）～ **4** 日（日）

- ・ 10 月 3 日（土）スプリント競技部門、モデルイベント（予定）
- ・ 10 月 4 日（日）ロング・ディスタンス競技部門（公認大会を併催予定）

## 開催地

長野県諏訪郡富士見町 富士見高原リゾート周辺

## 主催

日本学生オリエンテーリング連盟

## 主管

2015 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 スプリント競技部門実行委員会

2015 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 ロング・ディスタンス競技部門実行委員会

NPO オリエンテーリングクラブ・トータス

	スプリント競技部門	ロング・ディスタンス競技部門
実行委員長	齋藤 翔太（一橋 07）	石澤 俊崇（早稲田 93）
競技責任者	結城 克哉（東京 09）	近藤 康満（名古屋 10）
運営責任者	渡邊 彩子（早稲田 11）	同左
イベント・アドバイザー	山上 大智（東京 07）	同左

※（）内は出身大学と入学年度

**主管者の連絡先**（お問い合わせはこちらにお願いします）

実行委員会問い合わせ用アドレス（スプリント、ロング・ディスタンス競技部門共通）

✉ e-mail: [icsl2015\\_information@googlegroups.com](mailto:icsl2015_information@googlegroups.com)

## 大会公式 web サイト

URL: <http://www.orienteering.com/~icl2015/>

## 立入禁止区域

本大会への参加を予定している者（チームオフィシャル※ 含む）および観戦を予定している者は、要項 1 発行日から本大会終了までの期間、長野県諏訪郡富士見町 富士見高原リゾート周辺への、オリエンテーリング目的（トレイン視察含む）での立入を禁止します（競技参加時を除く）。詳細範囲は以下に示す地図をご覧ください。なお、立入禁止区域周辺道路および県道 484 号線の利用は妨げません。

立入禁止区域の設定に伴い、以下のトレインをクローズします。

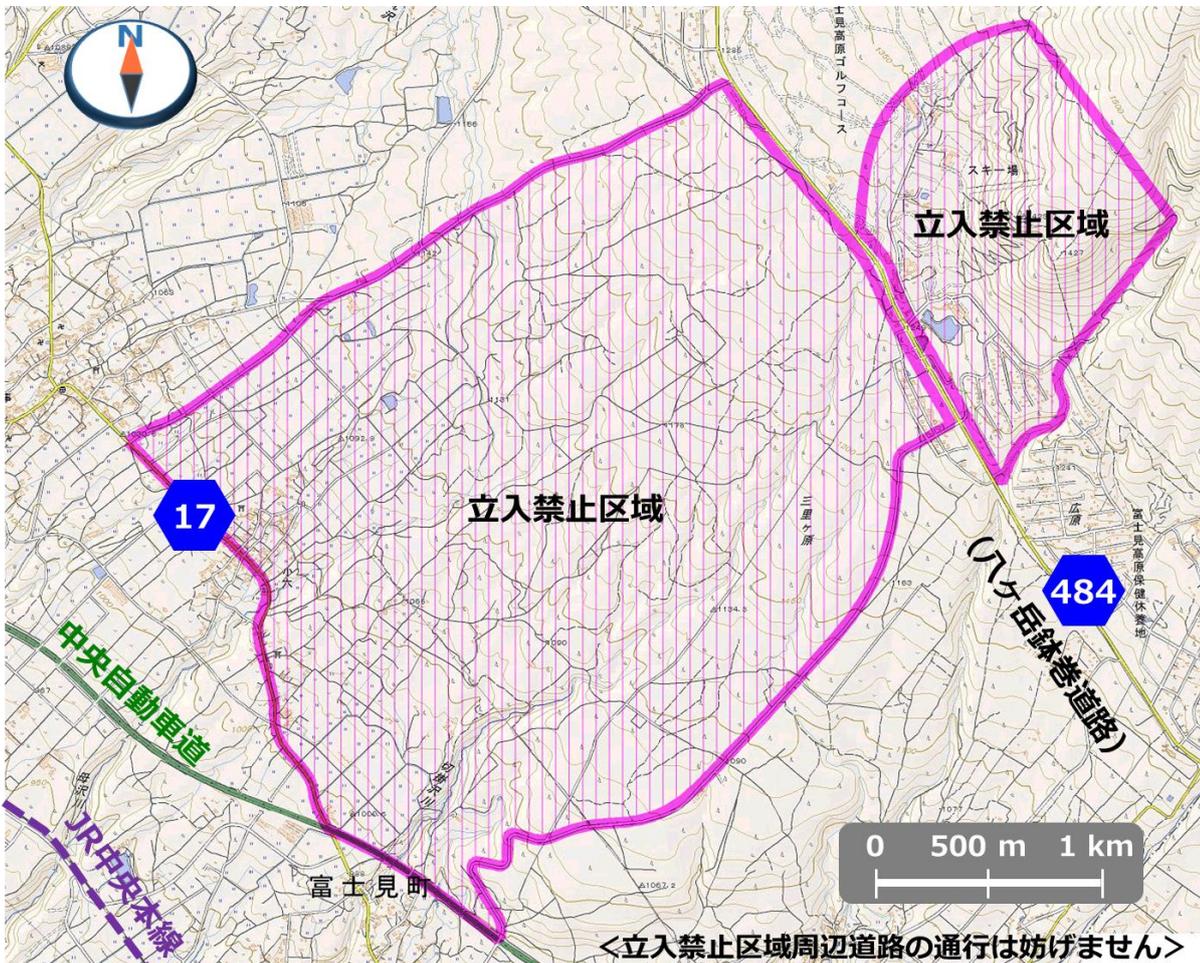
### クローズトレイン

「富士見の森 第 2 版」	2002 年 東京 OL クラブ作成
「AMIGASA」	2000 年 NPO オリエンテーリングクラブ・トータス作成
「信州八ヶ岳高原 ～切掛沢川～」	2008 年 NPO オリエンテーリングクラブ・トータス作成

以下のトレインはクローズしませんが、立入禁止区域を含むため利用に際しては十分に注意してください。

「信州八ヶ岳高原 ～鹿の沢～」	2008 年 NPO オリエンテーリングクラブ・トータス作成
-----------------	--------------------------------

※ 本大会参加校は、チームオフィシャルとして選手のサポートを行う者を登録することができます。チームオフィシャルについての詳細は、後日発行される要項 2 をご覧ください。



※地理院地図 (<http://maps.gsi.go.jp>) を加工して作成

## 参加申し込み

本大会の参加申し込みに関する情報は、後日発行される要項 2 をご覧ください。なお、要項 2 の発行は 6 月頃を予定しております。

## ご挨拶 -第 1 回スプリント競技開催にあたり-

日本学生オリエンテーリング連盟 2014 年度幹事長  
宇井 賢

6 年前に議論が始まり、一旦は否決されたインカレスプリントが 2 回の試行大会を経て正式発足に行き着きました。これにより、インカレはロング、ミドル、リレー、スプリントの 4 種目になり、今後一層大学オリエンテーリング界は盛り上がりを見せることでしょう。

まだまだ、学生の中では『スプリント = パーク 0』という認識が強いですね。しかし、インカレスプリントがその認識を根底から変えていくきっかけになることは間違いありません。スプリント競技においては、高速なレース展開の中でのルート選択やナビゲーション、高い集中力が求められます。またスプリント競技は、大勢の観客の中での『魅せるオリエンテーリング』であり、フォレストでのオリエンテーリングとは違った面白さがあります。運営者の方が、上質な地図、上質なコース、上質な演出を用意して下さるので、学生の皆さんは、選手はもちろん観客としてもスプリントの面白さを存分に味わってください。

日本においてスプリント競技は、社会の理解度も低く、しばらくの間は涉外問題等に直面することもあるかと思います。その中でも、継続してインカレスプリントを開催していくことを第一に考え、継続していく中で価値を見出していってください。記念すべき第 1 回大会のチャンピオンは誰になるのでしょうか。これから先、数々の名勝負を繰り広げ、スプリント競技が学生の中に浸透していくことを期待しています。

最後になりましたが、第 1 回インカレスプリントを開催するにあたって、これまでお力添えいただいた方々にお礼を申し上げまして挨拶といたします。

(要項 1 おわり)